

2013年9月30日

学生による「授業評価アンケート」の自己点検・評価報告書

札幌学院大学 FD センター
<http://www.sgu.ac.jp/edu/FDC/>

2011年度、「授業評価アンケート」の調査項目を見直した。以降、毎年2回（前期／後期）のペースで実施してきた。この間の取組を点検・評価するため、専任教員と非常勤講師を対象にアンケートを実施した。

全体で46名から回答があり、「授業評価アンケート」の効果や課題、あるいは改善への期待などが浮かび上がった。以下に、集計結果を報告する。

1. 目的

学生による「授業評価アンケート」の有効性を確かめ、改善の方向性を探る。

2. 実施方法

2013年6月7日から6月30日までの期間、専任教員と非常勤講師を対象に無記名方式のアンケートを実施した。

2012年度後期「授業評価アンケート」の結果とあわせて調査票（別紙参照）を配布し、コミュニケーションセンターと非常勤講師室に設置した回収ボックスで集約した。あわせて、Web上にも回答用サイトを開設した。

3. 回答状況

下表のとおり。全体の回答率は17.2%であった。

	回答数	構成比	対象者数	回答率
専任教員	21名	45.7%	112名	18.8%
非常勤講師	25名	54.3%	156名	16.0%
合計	46名	100.0%	268名	17.2%

4. 集計結果

設問ごとに集計結果を報告する。なお、自由記述回答を転載するにあたっては、記述内容の趣旨を変えずに字句を修正している場合がある。

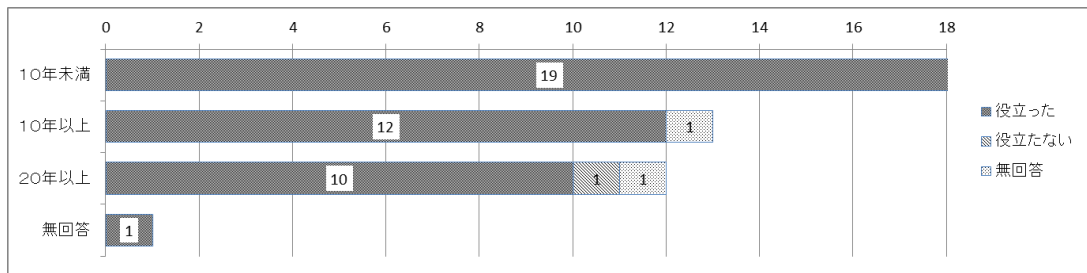
Q.1) 回答者のプロフィール(職種／教育歴(大学での教育経験年数))

教育経験年数	専任教員	構成比	非常勤講師	構成比
10年未満	9	42.9%	11	44.0%
10年以上	5	23.8%	8	32.0%
20年以上	7	33.3%	5	20.0%
無回答	—	—	1	4.0%
合計	21	100.0%	25	100.0%

Q.2) 今回の「授業評価アンケート」は、ご自身の振り返りや授業改善等に役立ちましたか？

全体の91.3%が「役立った」と回答した。

教育経験年数	役立った	役立たない	無回答
10年未満	19	1	
10年以上	12		1
20年以上	10	1	1
無回答	1		
合計	42	2	2
割合	91.3%	4.3%	4.3%



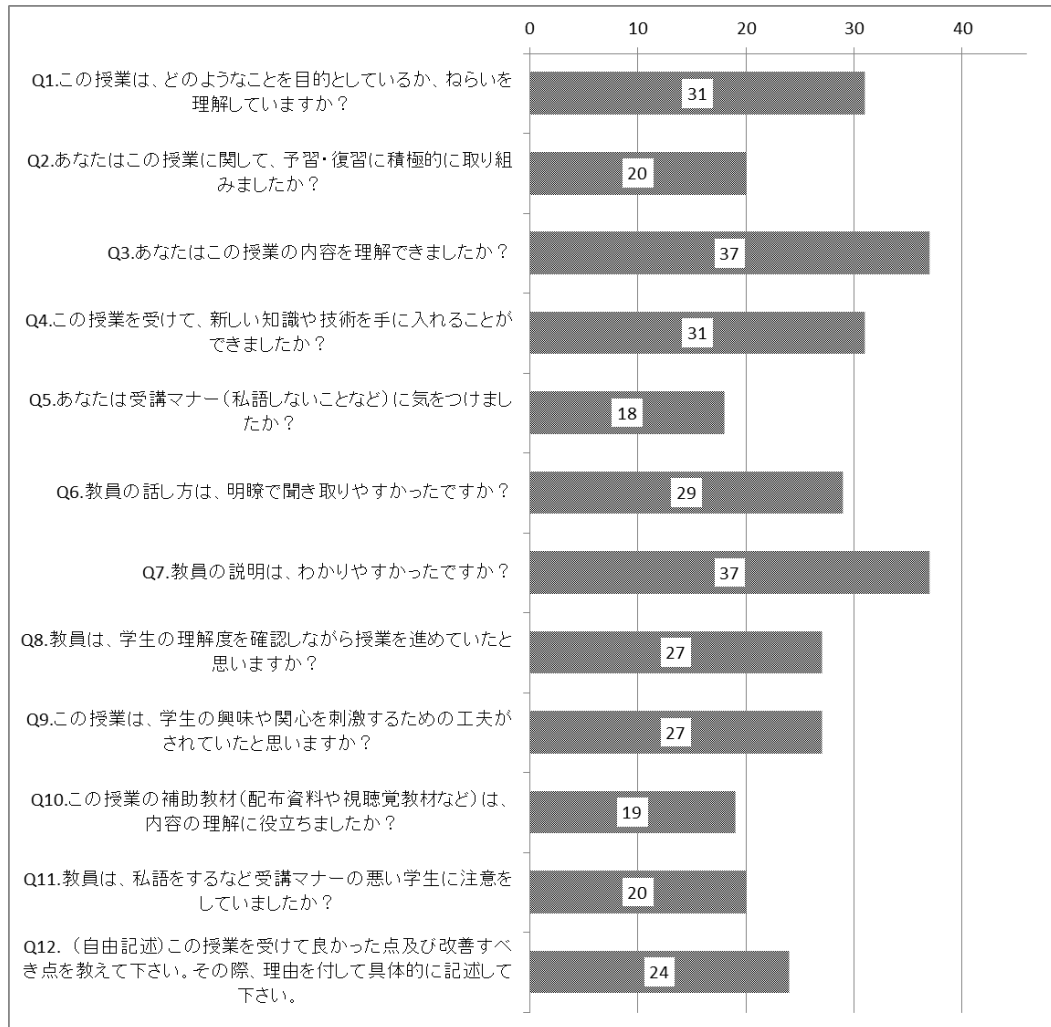
Q.3) 現行の「授業評価アンケート」の役立ち度、有効性などについて

「役に立った」と回答したものと「役に立たない」と回答したものに分けて、自由記述回答を列挙する。

「役に立った」
授業についてコメントを書いたことに感謝したい。学生の“生”の声が書かれているからである。(専任教員/10年未満)
これまでになく、たくさん(20)の誠実で具体的な自由記述が書かれていてびっくりしました。授業の振り返りや改善を生かし、教員と学生とのいい相乗効果を起こしたいと思います。予習・復習など学生の自主的な学びを導き出すのが課題です。(非常勤講師)
学生の指摘から改善のための多くのヒントが得られる。特に自分(教員)が気づかない面について。設問については他大学のものを少し参考に見てみたい。学生の本音をひきだせるように(非常勤講師/10年以上)
特に自由記述欄を気にしています。ここにわざわざ書いてくれた点こそ、学生の本音が見える気がするからです。(専任教員/10年未満)
自分が気付かない不備への指摘は有効な場合もある(pptの字の大きさなど) 受講生の準備不足や読解に基づくコメントもある。(専任教員/10年未満)
授業評価アンケートを結果として、どの様に利用するのが重要。単に個人に返すのではなく、学科・学部単位での利用法も考える必要あり。(専任教員/20年以上)
自分の講義を学生がどのように受け取めているのかを知る一つの方法として有効だと感じています。(専任教員/20年以上)
Students did not take this questionnaire seriously. It was said that finished it quickly, without thinking. Due to the low level of the students they were not influenced to do well, I feel after this class many students saw improvement and as a result were interested. (専任教員/20年以上)
授業評価アンケートにより、自分の授業が他者の目から見てどのように評価されているのかがわかり、授業改善に有用である。また、日々の授業を大切にしようという気持ちが湧いています。(非常勤講師/10年未満)
あまり英語が得意ではない学生、中高とかなり先生達から冷遇されてきた学生達に少しでも英語が楽しい、英語が使えるたら自分の World も広がる！という気持ちを持ってほしい…という気持ちで教えていますが、アンケートから割と私の意図が組み取られているように感じて嬉しく思いました。でも、色々な意見もあると思うのでさらにアンケートを基にして考えた授業をしたいと思います。(非常勤講師/20年以上)
ほぼ予測していた結果だった。予習・復習を要求しなかったし、理解度を確認しなかったのが、今後の参考にしたい。(非常勤講師/20年以上)
学生自身の振り返りと教員への授業評価の項目が一緒に処理されていて、表やグラフが見づらい。Q1~5と6以降は別の表・グラフにしてほしい。(非常勤講師/10年以上)
出席率の良くないクラスについては、母集団が小さいので、各項目の平均点が、必ずしもクラス全員(全体)の授業評価を反映しているとは言い辛いかもしれません。いつも、各項目への、全体の傾向性と、自由記述欄のコメントを参考にしています。(非常勤講師/10年以上)
学生自身の取り組み方がわかって良いです。(非常勤講師/10年以上)
「役に立たない」
たまにしか来ない、あるいは講義中、ぼーっとしている学生に、エンピツを転がして答えられるような選択肢で理解度などを聞いても、まったく意味がない。理解できるかどうかの以前の話であって、失礼な話である。また、配布時期も講義が終わって半年近くなってからフィードバックされても、使えない。 (非常勤講師/10年未満)
無回答
自分の評価は平均に一致しており、そんなものかという感想。大きく平均からはずれ低評価の教員は自己反省しているのか？この評価をみて。現実とは違うのでは？(専任教員/20年以上)

Q.4) 現行の「授業評価アンケート」の設問のうち、有用と思うものを選んで下さい。(複数回答可)

「Q3.あなたはこの授業の内容を理解できましたか?」と「Q7.教員の説明は、わかりやすかったですか?」を有用と答えた割合が高かった(いずれも、37名、80.4%)。逆に、有用と答えた割合が低かった設問(5割未満の設問)は、「Q5.あなたは受講マナー(私語しないことなど)に気をつけましたか?」(18名、39.1%)、「Q10.この授業の補助教材(配布資料や視聴覚教材など)は、内容の理解に役立ちましたか?」(19名、41.3%)、「Q2.あなたはこの授業に関して、予習・復習に積極的に取り組みましたか?」(20名、43.5%)、「Q11.教員は、私語をするなど受講マナーの悪い学生に注意をしていましたか?」(20名、43.5%)であった。



Q.5)「授業評価アンケート」の設問について、ご要望があれば教えて下さい。

選択式設問の意義、構成や方法についての意見・要望、自由記述式設問に対する意見が寄せられた。

<p>教員に対する評価と、学生自身に対する評価の欄を分けてほしい。混合されていると、どちらに対する評価なのかわかりにくいので。(非常勤講師/10年以上)</p>
<p>選択肢で答えさせる設問は意味ない。例えば、「この授業を受ける目的は何か?」「この授業を通して何を知りたいか?」「この授業はどのような進め方が良いか?」といった自由記述のみにしてほしい。(非常勤講師/10年未満)</p>
<p>あまりよく分かっていない層や何となくできている層(半数ほど?)がどのように答えているのか?のところがあります。いろいろな科目で一斉にとっていますので、機会的にサッサと答えている学生もいるようです。どのような方式がいいのか?です。この分野の研究者が推奨している、効果的な授業評価アンケートというのはあるのですか?(専任教員/20年以上)</p>
<p>授業評価だけでなく、学生の自主的な学びの状況がつかめる設問も追加してほしい。(非常勤講師)</p>

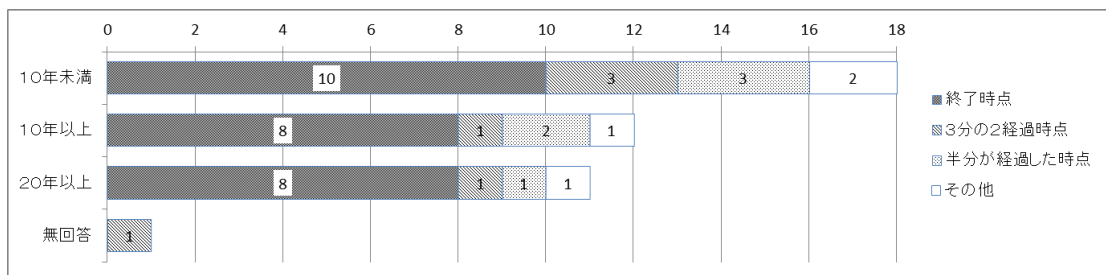
Q3とQ7が重複しているように見えるので、いずれか一つで十分ではないかと思ひます。(専任教員／10年未満)
自由記述の設問はあるほうがいいのぢらうと思ひますが、200名を超える講義でも記述はわずかでたいしたことは書かれていないので、そもそも授業評価を書くということに対してのきちんとした動機付けが必要なのかもしれませぬ。とはいへ、全ての講義で評価アンケートを記入させられている現状では学生の方もまたかという感じでまじめに回答する気もうせるのもしれませぬ。本当に全ての講義で毎年実施する必要があるのでしょうか。現状ではむしろマイナス効果の方が大きいように感じます。(専任教員／10年未満)
Individual opinions are better than a questionnaire in general.(専任教員／20年以上)
Q2の「予習・復習」はダブルバーレルですので、答えにくい場合があると思ひます。「予習や復習」にするか、別々にするかした方がよいと思ひます。わたしの授業では基本的には予習は不要といひています。教科書を用ひているわけではないので、宿題を与えないかぎり受講生は予習できません。もちろん「復習」は求めています。個人で自由な項目を設定することには賛成です。(専任教員／10年以上)

Q.6) アンケートの実施時期は、全授業日程の中のいつ頃がよいと思ひますか？

全体の56.5%が「終了時点」での実施がよいと回答した。途中での実施がよいと回答した割合は、「3分の2経過時点」と「半分が経過時点」を合わせて26.0%であった。「その他」には次の回答があった。

- 単元によって異なるのでは？
- 数年に一度程度
- 授業開始後、1ヶ月が過ぎた頃
- いつでもよいが、あらかじめ「第〇回に実施」と決めておいてほしい。そうでないと時間の確保が難しい場合がある

教育経験年数	終了時点	3分の2経過時点	半分が経過時点	その他	無回答
10年未満	10	3	3	2	2
10年以上	8	1	2	1	1
20年以上	8	1	1	1	1
無回答		1			
合計	26	6	6	4	4
割合	56.5%	13.0%	13.0%	8.7%	8.7%



Q.7) 「授業評価アンケート」を改善するためのアイデアがあれば教えて下さい。

実施時期や集計方法、分析方法に対する意見、提案が寄せられた。

半分が経過した時点でのアンケートを実現してほしい。アンケートに答えた学生自身が利益を得るためには、全授業が終了してからでは遅すぎる。集計や通知を早めて、学生自身の利益としてほしい。(非常勤講師／10年以上)
講義をしていて常に心がけているのは、学生の興味と役立ち度である。小テスト等で理解度を確認しつつ、授業のレベルや速度を調整しているが、学生が何を知りたいか、目的な何かがわかれば、それも授業開始してあまり時間がたたない時期にフィードバックされれば授業への改善に大きくつながっていく。そのため、選択肢で問うような設問では意味がない。また、やる気のない学生や、成績評価のみを気にする学生に聞いても全く意味がない。(非常勤講師／10年未満)
語学、専門、教養など科目の特性による集計を出し、それと個人の結果を比較してほしい。特に語学は、それまでの学力が当該授業を受ける際にも関係してくるので、授業に対するとらえ方、取り組み方

<p>が学生によって(学力の差で)初めから異なるということもあります。(できる学生の方が、よい評価をするであろうことが予想されます)(非常勤講師/10年以上)</p>
<p>集計結果の経年変化を分析してフィードバックしてほしい。(非常勤講師/10年未満)</p>
<p>本人の受講姿勢を自己評価してもらい、積極的に受けていた学生とそうでない学生のデータ比較ができれば幸いです。(非常勤講師/10年未満)</p>
<p>語学、専門、教養など科目の特性による集計を出し、それと個人の結果を比較してほしい。集計結果の経年変化を分析してフィードバックしてほしい。(専任教員/20年以上)</p>
<p>クラス規模(人数)との相関を示してほしい。(専任教員/10年未満)</p>
<p>大規模・中規模・小規模で履修者数で分類して評価してほしい。“少人数→学生の満足度は高い”のだから。北星学園は、そのように分類している。(専任教員/20年以上)</p>
<p>いわゆる理系科目の集計結果とそれ以外で違いがあるのか知りたいのですが…。理数系ですと、「分かる」と答える学生は多くはないと思うのですが…。(専任教員/20年以上)</p>
<p>演習についての授業評価は不要だと思います。スーパーバイザーがスーパーバイザーから評価を受けていたら関係性が成り立ちません。各講義や演習には特性があるので一律に行うことは逆に問題です。毎年のように評価アンケートを行う必要性は感じません。各講義ごと3年に1度程度にするほうが負担という点でも、学生の真剣な評価という点でも良いと思います。今の毎年行う方式では担当講義も多いためわずらわしくて仕方ありません。(専任教員/10年未満)</p>

Q.8)その他、「授業評価アンケート」についてお考えのことがあれば教えて下さい。

アンケートの目的、意義についての意見、これを実質化するための改善方策に関する課題認識が示された。

<p>授業の総括をするのであれば、第15週に調査しても良いように回収日程を検討して頂ければありがたいです。北大には「ベストティーチャー」を選出する試みを行っている側聞しています。本学も同様の試みを検討してもいいのではと思いました。(専任教員/10年未満)</p>
<p>個々の教員の授業の査定としてのアンケートに終わっては意味がないのではないかと感じています。本学が目ざす「学びの姿」とはどのようなものかについて明確な目標を立ててはどうでしょうか。個人的には、授業改善とは教員の教え方の改善というよりは、どのようにしたら学生が自ら主体的に学ぶようになるのかを大学全体で考え、そのことに向けて少しでも改善をすすめるということが必要なのではないかと考えています。そのことにつながる「アンケート」を開発していただければと思います。(専任教員/20年以上)</p>
<p>結果をふまえた授業改善のとりくみがどのように各教員によって行われているのかを知りたい。参考にしたいと思うからです。形骸化させずに実質的なFDにつなげていくための工夫がそろそろ求められているのではないかと思います。(専任教員/10年以上)</p>
<p>中間評価アンケートなどは講義の進行スケジュールの非常に大きな邪魔になるので、今後はもうやめていただければと切に願います。非常勤先の大学でも授業評価アンケートが求められますが、どここの大学もFDを推進しているという実績作りの側面がないのでしょうか。そのような形での実施であれば学生にとっても教員にとっても貴重な講義時間を削ってまで評価アンケートをする必要があるのか疑問です。私はいつも講義開始前には教室で準備してチャイムと同時に講義を始めて、講義は時間いっぱいまで行い(というよりいつも内容が終わりきりませんが)、最後はリアクションペーパーを書き終わる学生を待つのに次の休み時間も教室に待機しています。講義の評価ややり取りはこのリアクションペーパーで十分できている(毎回、開始時にはリアクションペーパーにレスポンスを返します。教室が暑い寒いから、どこそこの席の私語がうるさいから、質問疑問、追加の説明まで翌週には対応できます。)と感じていますので、授業評価アンケートで講義時間を取られるのは正直がっかりします。(専任教員/10年未満)</p>
<p>アンケートに答えてくれた学生にフィードバックするためにも、集計結果を学期中に知らせてほしいと切に願います。(非常勤講師/20年以上)</p>
<p>自由記述をしてくれる学生が少ないことが、やや残念です。学生からの授業評価だけでなく、教員側からも応答する機会が設けられていることは、大切であり、続けて頂きたい。私は、この「授業評価」とは別に、独自の「学生からの授業評価」を2つ設けています。1つは、ほぼ毎回の授業後に、1分間 学生から振り返りのコメントを書いてもらうこと。もう1つは、講座終了時に、約5項目位の、教員独自のアンケートを(この授業評価とは若干時期をずらして)行っています。それらを、毎回の授業展開や、次年度のシラバス作成等に、タイムリーに活用しています。”(非常勤講師/10年以上)</p>
<p>チェックシートでは学生は機械的に記入していると思受けられる。平均と当該講義との評価の差が統計的にどれほど有意の差があるのか不明。(非常勤講師/10年未満)</p>
<p>年度によって学生のタイプも異なるので、当期中に反映できるように半分経過時で行ってほしい。(非常勤講師/10年未満)</p>
<p>受講生の少ない(5名以下)についてはアンケートの実施は必要ないと思う。(専任教員/10年未満)</p>

教員に feedback されているのか…。自己反省、かえりみる機会になっているのか？80%の教員はそうしている！しかし、10%程度(??)の教員は居直っている！（専任教員／20年以上）

実施回をあらかじめ学期前(できれば前年度・シラバス入稿前)に指定してほしいと感じます。アンケートの時間を確保するのが困難な場合があるからです。履修放棄の手続きをとる学生に対してもアンケートを実施することはできないでしょうか。放棄する理由を尋ねることが授業改善につながる可能性もあるかと感じます。(専任教員／10年以上)

これまでの経験では、評価アンケートをとる時期がたまたま分かりやすい単元が続いている授業の後の場合と、難しい単元が続いた後とでは結果に差があるように思います(前者の場合は評価点が高く出ます。一般に後半になるに従って難しくなります)。また、履修学生と信頼関係をうまく作れたか否かといった点でも影響が出てくるような気がします。演習科目や履修学生が少数の場合は、個々の学生の状況は、授業中の反応や出来具合でわかりますが、読む力や理解力の個人差が年々大きくなっています(欠席がちな学生を何度も呼び出して、出席させているのかも影響しているのかもしれませんが…)。このような状況で、アンケートの結果を気にしすぎると、難しいことを簡単に済ませてしまいたくなる気持ちになってしまいますので、分かっている学生層を念頭に置いて授業計画は立てています。しかし、分かっている層に対してどこまでを目標にすべきか、アンケート結果を見ながら悩むことがあります。(専任教員／20年以上)

別紙（調査票）

2013年6月

教員各位

札幌学院大学FDセンター長

学生による「授業評価アンケート」の自己点検評価（協力をお願い）

別紙のとおり、2012年度後期の「授業評価アンケート」の結果をお渡しいたします。教育方法改善のためにご活用いただきたく存じます。

さて、FDセンターでは、この「授業評価アンケート」の有効性を確かめ、改善の方向性を探るため、アンケートを実施することといたしました。ご多忙のところ恐縮ですが、みなさまのご協力を賜りますようお願い申し上げます。アンケートの結果は、2013年8月頃にホームページ等を通じてご報告する予定です。

調査票

Q1 回答いただく方のプロフィールをお尋ねします。該当するものにチェックして下さい。

（職 種） 専任教員 非常勤講師

（教育歴） 大学教員歴20年以上 大学教員歴10年以上 大学教員歴10年未満

Q2 今回の「授業評価アンケート」は、ご自身の振り返りや授業改善等に役立ちましたか？

役立った 役立たない

Q3 現行の「授業評価アンケート」の役立ち度、有効性などについて自由に記述願います。

Q4 現行の「授業評価アンケート」の設問のうち、有用と思うものを選んで下さい。（複数回答可）

Q1. この授業は、どのようなことを目的としているか、ねらいを理解していますか？

Q2. あなたはこの授業に関して、予習・復習に積極的に取り組みましたか。

Q3. あなたはこの授業の内容を理解できましたか？

Q4. この授業を受けて、新しい知識や技術を手に入れることができましたか？

Q5. あなたは受講マナー（私語しないことなど）に気がつけましたか？

Q6. 教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか？

Q7. 教員の説明は、わかりやすかったですか？

- Q8. 教員は、学生の理解度を確認しながら授業を進めていたと思いますか。
- Q9. この授業は、学生の興味や関心を刺激するための工夫がされていたと思いますか？
- Q10. この授業の補助教材（配布資料や視聴覚教材など）は、内容の理解に役立ちましたか？
- Q11. 教員は、私語をするなど受講マナーの悪い学生に注意をしていましたか？
- Q12. （自由記述）この授業を受けて良かった点及び改善すべき点を教えて下さい。その際、理由を付して具体的に記述して下さい。

Q 5 「授業評価アンケート」の設問について、ご要望があれば教えて下さい。

例) 新たに「OOOOOOOOOOOOOOOOOOOOO」という設問を追加してほしい。
統一設問以外に、個人で自由な項目を設定し、集計できるようにしてほしい。
OOOOOOのため、学生の自由記述を中心としたアンケートにしてほしい。 など

Q 6 アンケートの実施時期は、全授業日程の中のいつ頃がよいと考えますか？

- 終了時点 3分の2経過時点 半분이経過した時点 その他 []

Q 7 「授業評価アンケート」を改善するためのアイデアがあれば教えて下さい。

例) OOOOOOのため、OOOOOOの観点からの集計を行ってほしい。
語学、専門、教養など科目の特性による集計を出し、それと個人の結果を比較してほしい。
集計結果の経年変化を分析してフィードバックしてほしい。
講義だけでなく、演習を評価するためのアンケートを考案し、実施してほしい。 など

Q 8 その他、「授業評価アンケート」についてお考えのことがあれば教えて下さい。

ご協力ありがとうございました。

調査票はコミセンの回収箱、非常勤講師室の回収箱に投函願います。
このアンケートは次のWebページからも回答できます。
<https://sgujrr.sgu.ac.jp/fdcenter/>